

企業概要



株式会社 岩手環境事業センター

代表取締役社長 濱田 博

(所在地：岩手県北上市)



当社について

当社は、昭和61年に岩手県・北上市で創業しました。産業廃棄物処理業者として、県内外各地から運搬される生ごみや有機汚泥をリサイクル（自社開発の発酵処理プラントで堆肥化）し、環境や人に優しい有機質肥料「みのりのパートナー」として県内・外に広く販売しています。

また、自社の肥料を始めとした農資材の販売や農作業の請負、ドローンによる農薬散布、飼料米・主食米の買取など、農業基盤を支える業務も行っています。

「廃棄物処理」を通して環境や地域社会に貢献することを基本方針とし、地域の住民や農家の方々とのつながりを大切にしながら、さまざまな事業に取り組んでいます。

現状のSDGsに対するマテリアリティ（重要課題）

大項目	マテリアリティ（重要課題）
環境の保全	エネルギー使用量の削減、廃棄物の3Rの推進、グリーン購入・調達
従業員の働きがい	休暇の取得奨励、病気治療や介護との両立支援、従業員のキャリア開発
地域社会への貢献	地域とのコミュニケーション、産学官連携、地産・地消の推進
コンプライアンス・ガバナンス	コンプラ体制の構築、BCPの策定、業務効率化や生産性の向上

株式会社 岩手環境事業センター SDGs宣言書

当社は、国際連合で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の達成に、以下のマテリアリティ（重要課題）への取り組みを通じて貢献します。



2026年2月17日
株式会社 岩手環境事業センター
代表取締役社長 濱田 博

マテリアリティ（重要課題）

環境の保全

人・もの・自然に優しいグローバルな社会づくりに取り組み、循環型社会の形成に貢献します。

▼目標・取り組み内容

- ・電力・灯油・軽油使用量を前年度比-1%を目指します。
- ・受託した廃棄物については再資源化100%を継続します。
- ・グリーン購入を意識し、社内の環境意識を高めます。



従業員の働きがい

ワークライフバランスを重視し、従業員のキャリア開発と働きやすい雇用環境を整備します。

▼目標・取り組み内容

- ・従業員の年次有給休暇取得率50%以上を目指します。
- ・安心して長く働き続けられる仕組みづくりを推進します。
- ・一人ひとりがキャリアを磨き、活躍できる環境を目指します。



地域社会への貢献

資源のリサイクルと環境活動により、地域社会との共和に取り組みます。

▼目標・取り組み内容

- ・事業所周辺の清掃活動を年2回以上実施します。
- ・搬入廃棄物を自社処理した有機質発酵廃棄物を製造・販売しています。
- ・積極的に視察を受け入れ、リサイクル業界のイメージアップを目指します。

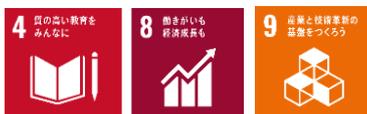


コンプライアンス・ガバナンス

コンプライアンス体制を強化し、BCP策定による企業価値の向上に努めます。

▼目標・取り組み内容

- ・コンプライアンス研修を実施し、意識を高めます。
- ・業務効率化に向けたデジタル化推進を積極的に検討します。
- ・BCPを策定し、企業価値を守ります。



さあ、ユニークバンクへ。



【企画・制作協力：株式会社日経リサーチ「SDGs経営推進プロジェクト」】